

町田市 避難施設感染防止対策 マニュアル ver2.00

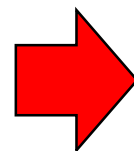
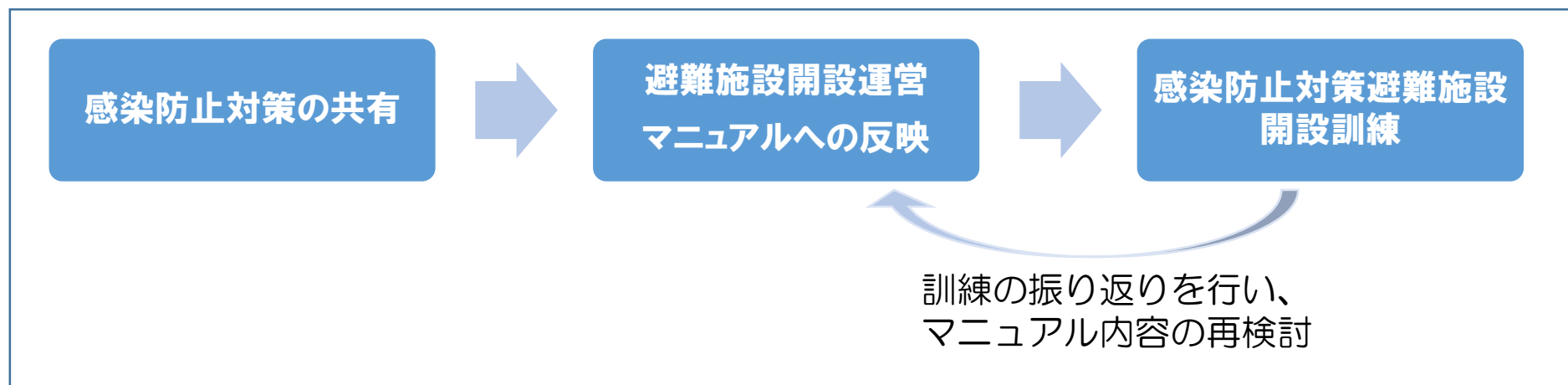
2021年7月

◆マニュアルの活用方法	2
◆発災前の事前準備	3
◆避難施設における感染防止のポイント	4
◆避難施設におけるそれぞれの役割	5
◆開設担当者の感染防止対策	6
避難施設キットの取り出し	7
◆避難施設開設準備	8
避難所レイアウト（例）	9
体調不良者等専用スペースの設置	10～11
居住スペースの設定	12～13
事前受付の設置	14～16
◆避難者の受け入れ	17
事前受付の流れ	18
◆避難施設の運営	19～21
殺菌消毒液の作成	22
体調不良者等専用スペースで生じたごみの取り扱い	23
非接触型体温計の使用方法	24
開設担当者の感染防止対策装備品	25～29
避難者が怪我若しくは体調が悪化した場合の対応	30
◆主な開設キットの収容物品一覧	31
◆参考	32

本マニュアルの活用方法

新型コロナウイルス感染拡大を受け、避難施設における感染防止対策を講じる必要があります。

本マニュアルは避難施設における感染防止対策をまとめ、避難施設ごとに作成している「避難施設開設運営マニュアル」に反映、若しくは補足資料として活用いただくことを目的として作成しております。



新型コロナウイルスへの対策として、クラスター(集団)の発生を防止することが重要です。

出典：首相官邸HPより

発災前の事前準備

□避難施設以外への避難の呼びかけ

※「避難」とは「難」を「避」けることであり、安全な場所にいる人まで避難施設に行く必要はありません。

在宅避難も避難行動であることを周知する。

□避難施設関係者連絡会の実施

※感染防止対策を共有するとともに、施設の利用計画について再度検討し、マニュアルに反映させましょう

（専用スペース、事前受付 等）。

□感染防止対策避難施設開設訓練の実施

※検討したマニュアルに基づき、開設キット等を活用した訓練を実施いたしましょう。

避難施設における感染防止対策のポイント

開設担当者の感染防止対策

一人あたりの収容スペースの増加

事前受付による避難者の振り分け

避難施設の換気・消毒の徹底

体調不良者等のスペース及び
導線の隔離

避難者ひとりひとりの感染防止対策

避難施設における役割

●避難者



- ◆避難施設での密集をさけるため、在宅避難や親戚宅等への避難の検討
- ◆マスクの着用、咳エチケット、手指消毒等の感染防止対策の徹底

●自主防災組織



- ◆避難施設開設運営マニュアルに基づいた避難施設の開設準備
- ◆通常避難者の対応
- ◆施設の清掃や換気等の感染防止対策

●市職員（避難施設指定職員）



- ◆避難施設開設運営マニュアルに基づいた避難施設の開設準備
- ◆体調不良者・濃厚接触者・自宅療養者の対応
- ◆保健所との連携

●施設職員



- ◆避難施設内の居住スペースや、体調不良者の専用スペースを設置する際など施設の活用に関することを中心に運営の支援

1 開設担当者の感染防止対策

□開設に向かう際に準備するもの

※自前で準備できる感染防止対策物資を準備しましょう。

【携行品（例）】

マスク、手指消毒液、ペーパータオル、体温計 等

※その他開設に必要な手袋やうち履き、ヘルメット等も準備しましょう。

□避難施設開設キットの取り出し【P 7 参照】

※開設キットに収納されている感染防止対策物資を取り出しましょう。

□感染防止対策物資の装着【P 25～P 29 参照】

※開設担当者の感染を防止するため物資を装着しましょう。

完了

自身の体調がすぐれない場合や発熱等の症状がある場合は、避難施設へ参集することで、感染拡大を起こす可能性があります。参集前に検温や体調の確認を行いましょう。

開設キットの取り出し

施設内に保管している、感染防止対策物資等を収納した「避難施設開設キット」を取り出しましょう。

⇒開設キットの保管場所について、事前に施設管理者と確認をしましょう。

※消毒液が備蓄されているため、屋外の防災倉庫へは備蓄できません。



開設キットの構成

発災に備え、避難施設開設の前段階から開設後の初期段階までの必要物資、行動手順及び各種掲示物を収納します。

<収納物品>

- ・ 行動手順書 ・ 各種貼り紙 ・ 受付用品
- ・ 感染防止物品（非接触型体温計、ペーパータオル、手指消毒液、マスク、ガウン、etc）
- ・ 開設準備物品（養生テープ、スズランテープ、メジャー、etc）



※収納物品イメージ

※物資の詳細については避難施設開設キット収納物品一覧（P 31）参照

2 避難施設開設準備

□体調不良者等専用スペースの設置【P 1 0～P 1 1 参照】

- ※居住スペース（体育館等）から離れた場所（校舎等）に体調不良者等の専用スペースを設置する
- ※体調不良者等の専用スペースと通常の居住スペースの境にコーンやテープ等で境界線を設定する。

□居住スペースの設置【P 1 2～P 1 3 参照】

- ※メインの居住スペースを優先に区割りを行う（一人あたりのスペースを4㎡に設定）
- ※必要に応じ要配慮者スペースや体調不良者等のスペースの区割りも行う。

□事前受付の設置【P 1 4～P 1 6 参照】

- ※校庭（雨天時は昇降口等）に事前受付を設置する。
- ※事前受付に必要な物品を用意する。

完了

R2. 6. 10
第2版

C

体調不良者等専用スペースの設置

●避難施設における感染拡大を防止するため、以下に該当する者の専用スペースを設置する。

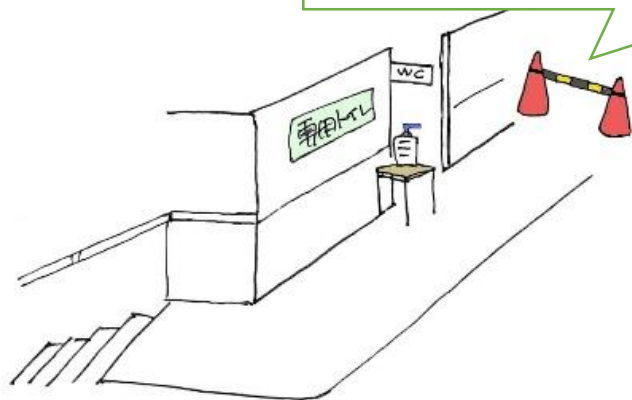
【専用スペースを設ける避難者】

体調不良者
(咳・発熱等の感染の疑いがある人)

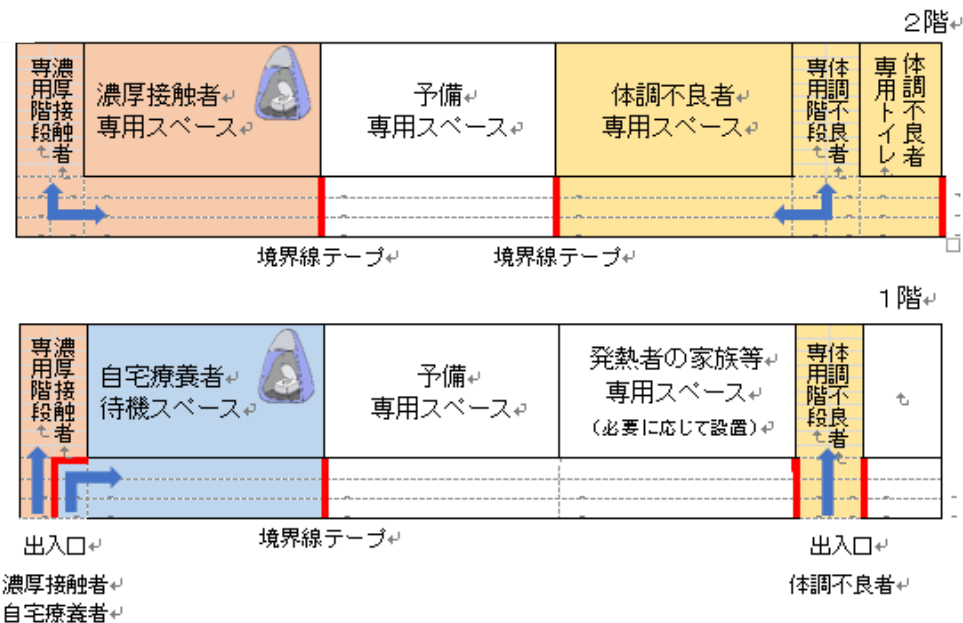
濃厚接触者
(健康観察期間中)

自宅療養者

通常の避難スペースと行き来
できないようにする。



専用スペースのゾーニング (イメージ)



- ☑通常の避難者と体調不良者、濃厚接触者、自宅療養者の動線を分けましょう。
- ☑使用するトイレも通常の避難者と分けましょう。

体調不良者等専用スペースの設置

体調不良者の隔離スペースが確保できない場合には、体育館等に避難所間仕切りを設置して一時的に避難者を隔離する。

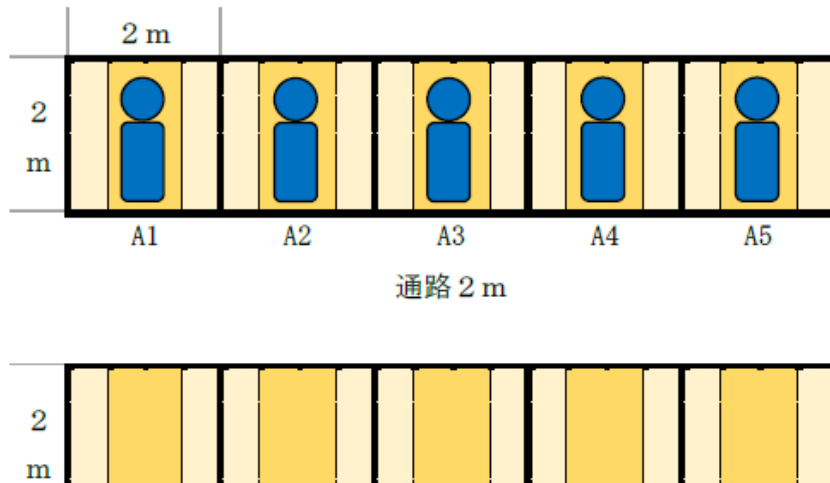


※避難所間仕切りシステムは防災備蓄倉庫に1セット備蓄

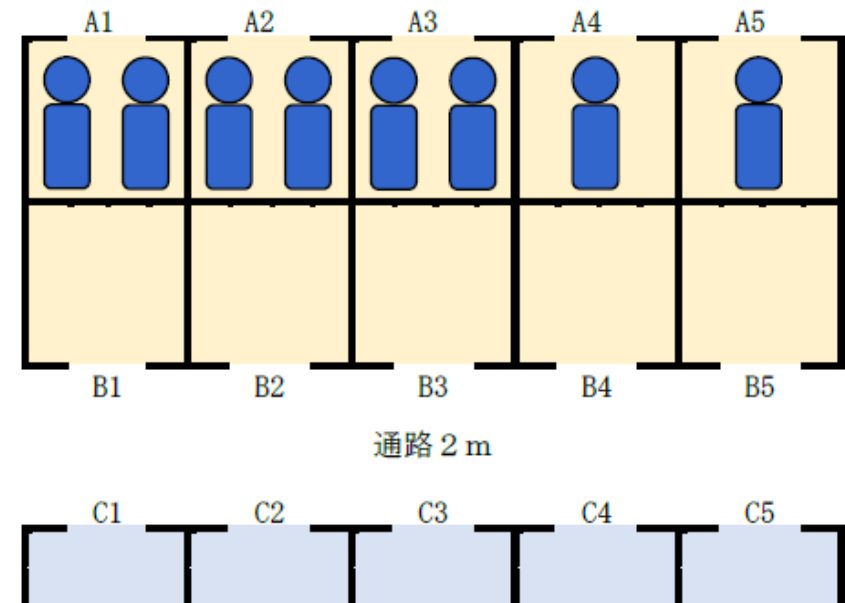
居住スペースの設定

一世帯あたりの区画を4㎡ (2m×2m) に設定する。

ア テープ等による区画表示した場合



イ パーテーションやテントを活用した場合



- ☑ 通路は可能であれば2m、少なくとも1mは確保しましょう。
- ☑ それぞれの区画に「A1」「A2」等番号を振ると避難者の振り分けや管理がしやすくなります。

居住スペースの設定

【養生テープやスズランテープでの区分け】



メジャーを使用して2mごとに養生テープを貼って区画を設定する。



【テントやパーティションでの区分け】



避難者が持ってきたテントの活用も検討しましょう（4㎡の範囲内）。

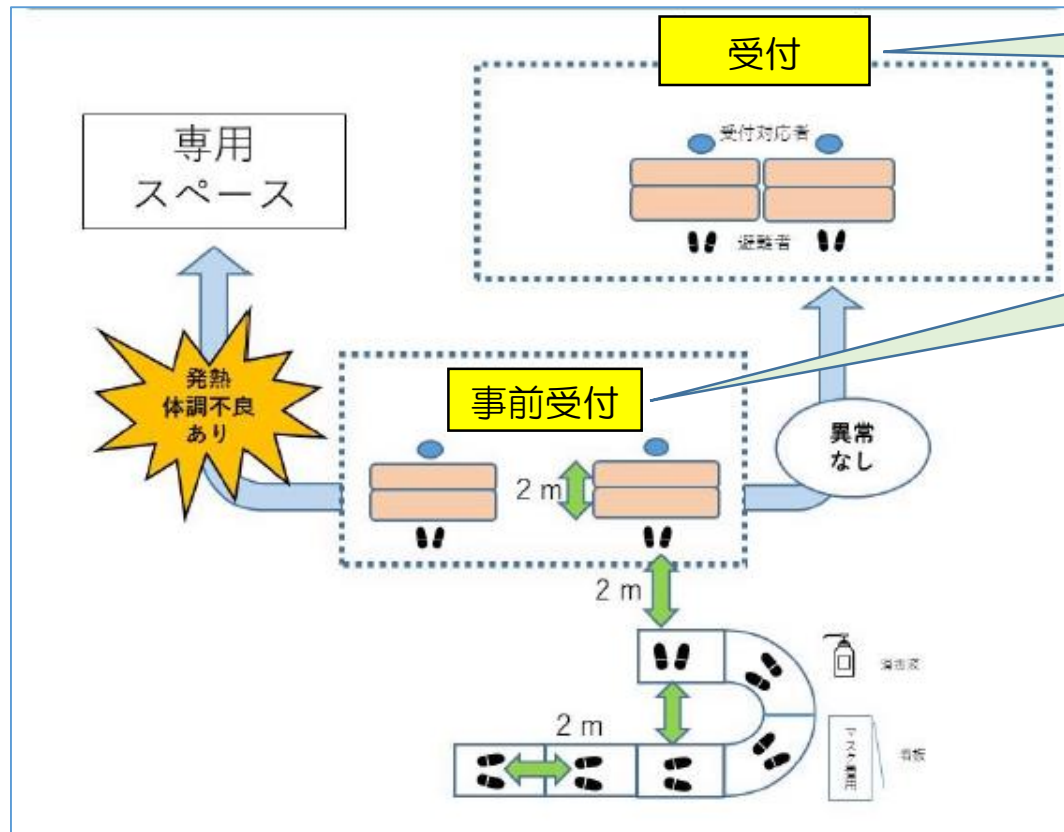


- ①防災備蓄倉庫に備蓄されているファミリールーム（2m×2m）（10室）
- ②屋内型簡易避難用テント（2m×2m）（50張）を活用しましょう。

事前受付の設置

●体調不良者を振り分けるための事前受付の設置

＜受付場所設定イメージ＞



居住スペースの近くに設定
(体育館の玄関等)

居住スペースから離して
設定
(校庭・昇降口)

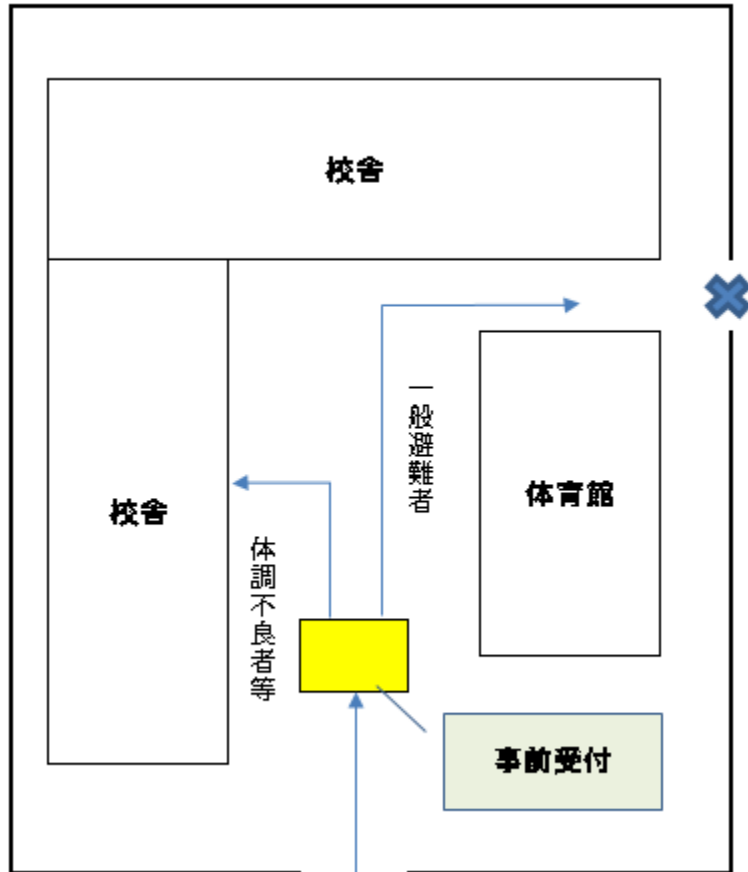
ポイント

※事前受付場所を設定する際は、十分なスペースがあり極力、有症状者と一般避難者の導線を分けられる場所に設定しましょう。
※受付場所は居住スペースの近くに設定しましょう。

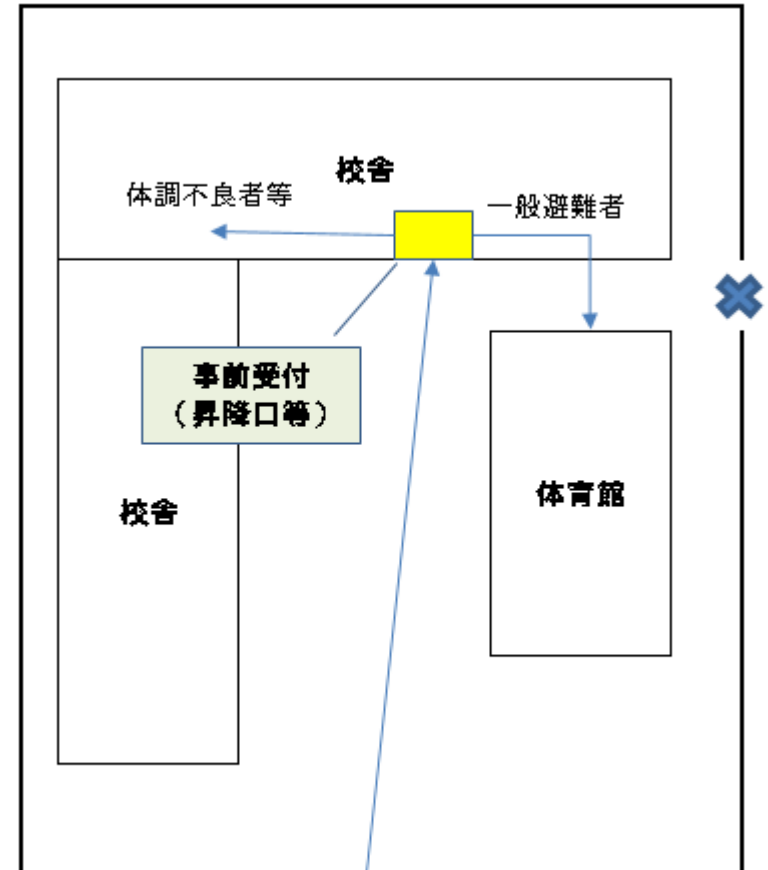
岐阜県 避難所ガイドライン「新型コロナウイルス対策編」より引用

事前受付の設置場所

<晴天時>



<雨天時>



- ☑施設の入り口付近に設置し、早期の段階で避難者の振り分けを行います。
- ☑校門が複数ある場合には、滞在スペースの振り分けを行うために開放する門は極力1カ所に限定します。

事前受付設置イメージ

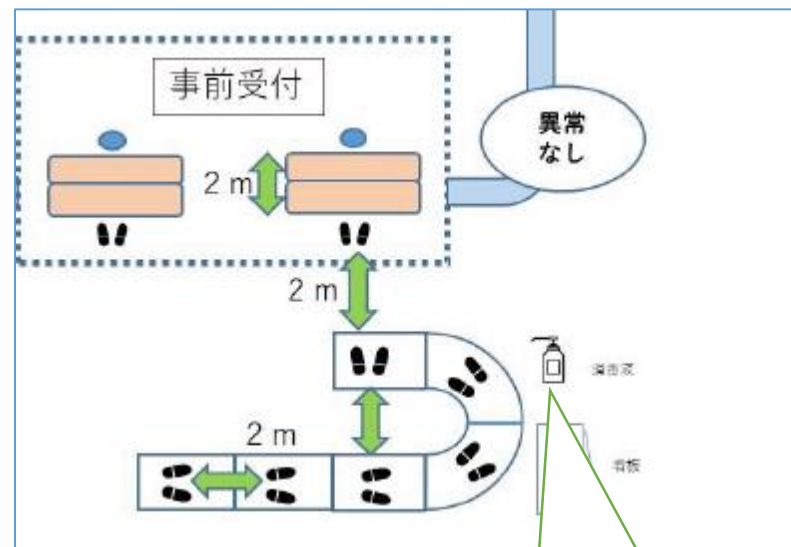
●用意するもの

- ・貼り紙
- ・非接触型体温計
- ・養生テープ
- ・手指消毒液

順番を待つ人が立つ位置を
2メートル間隔で印を付ける



貼り紙をする



※手指消毒液を設置し、
必ず使用してもらう

3 避難者の受け入れ

□事前受付による避難者の振り分け【P 18 参照】

※検温と避難者からの聞き取りにより避難者の振り分けを行う。

※事前受付の対応は、原則、避難施設指定職員が対応する。

□体調不良者等の誘導

※事前受付の結果、専用スペースへの誘導が必要な方を誘導する。

※感染防止対策を施した担当者が誘導する。

□本受付

※受付を行う際に避難者へのマスクの着用、こまめな手洗い、咳エチケットを呼びかける。

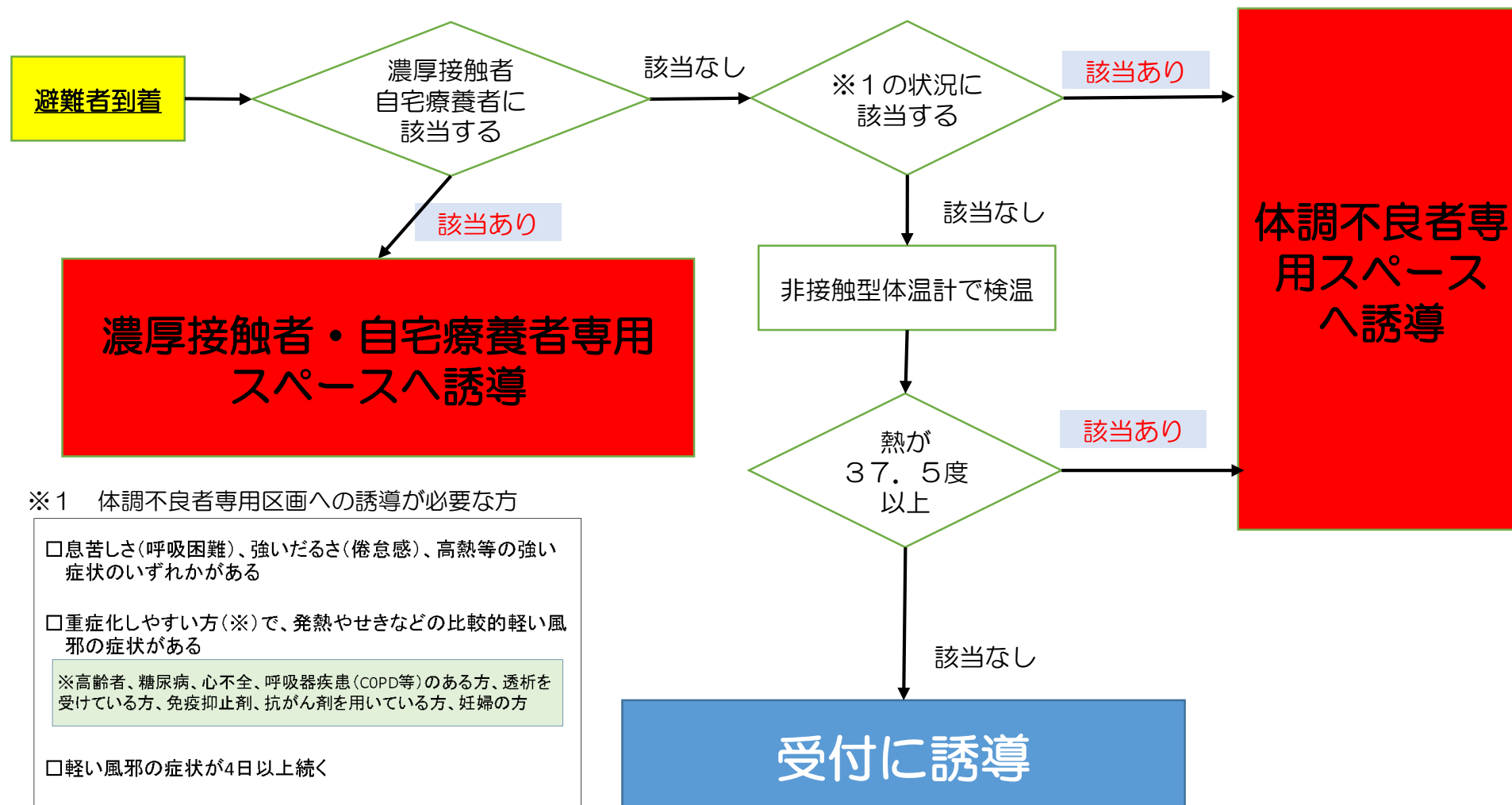
※マスクを着用していない方にはマスクを配布します。

※避難者名簿にどの居住スペースに滞在しているか記載する（感染者が発生した場合に名簿をもとに追跡）。

完了

事前受付の流れ

事前受付では以下のフローに従って、避難者を振り分けます。



※1 体調不良者専用区画への誘導が必要な方

☐ 息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある

☐ 重症化しやすい方(※)で、発熱やせきなどの比較的軽い風邪の症状がある

※高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患(COPD等)のある方、透析を受けている方、免疫抑制剤、抗がん剤を用いている方、妊婦の方

☐ 軽い風邪の症状が4日以上続く

※この内容が記載された貼り紙を開設キットに格納

4 避難施設の運営 ①

□ 避難者及び運営スタッフの健康確認

※避難者及び運営スタッフに体調チェック表を配布するなどして、毎日、自己チェックを行います。
※避難者で発熱や体調不良がある人は、症状に応じて体調不良者専用スペース等に移すなどの対応をします。
※運営スタッフで症状がある場合は、避難施設運営委員会に速やかに報告し、症状が改善するまで業務から離れるように配慮します。



□ 定期的な換気（30分に一回以上）

※避難施設内の十分な換気に努めます。
※風の流れができるように、2方向の窓を開放し、数分間程度、窓を全開して換気します。
※窓が一つしかない場合はドアを開ける。換気扇や扇風機を併用すると、換気効果が向上する。



□ 定期的な清掃・消毒 【P22 参照】

※避難施設内の物品や施設内は、定期的に、また目に見える汚れがあるときに、殺菌消毒液を用いて清掃するなど、避難施設の衛生環境をできる限り整えます。
※特に、手すりやドアノブ、トイレなど共用部分は、毎日時間を決めて定期的に消毒します。
※掃除、消毒のときは、マスク、眼の防護具、掃除用手袋（手首を覆えるもの。使い捨てゴム手袋も可）、エプロンまたはガウンを装着します。



4 避難施設の運営 ②

□ 食事・物資等の配布

※食事や物資等の配布は、避難者が取りに来る方法とする場合、混雑を防止するため配布場所を複数設けたり、配布するタイミングを分散するなどの工夫をします。

※濃厚接触者や咳・発熱等の感染の疑いがある人への食事の受け渡しは、直接行わず、専用スペース前などに置いて渡す方法とします。



□ ごみ処理【P23 参照】

※体調不良者等専用スペースで発生したごみは、通常のごみとは異なる処理を行うため、一般スペースのごみとはわけ、ごみ袋を2重にしたうえで密閉して出しましょう。

※ごみ処理を行うときは、マスク、眼の防護具、掃除用手袋、ガウン（ごみ袋での手作り、カップパでの代用も可）を装着します。



□ 避難者情報の管理

※避難施設で感染者が発生した場合に備えて、避難者カード等の避難者の情報は、感染の追跡調査に備えて退所後一定期間（少なくとも2週間以上）保管します。

※避難者の情報には、濃厚接触者を後追いできるように、入退所日や滞在スペースの場所も記録しておきます。

4 避難施設の運営 ③

□ 濃厚接触者・発熱者等への対応

※濃厚接触者や咳・発熱等の感染の疑いがある人の健康観察は、保健所や医療救護班等と連携し、必要時に医療機関への受診をすみやかに実施していきます。

体調不良者 (咳・発熱等の感染の疑いがある人)	発熱者等専用スペースで受け入れます。 健康観察を行い、緊急性の高い症状がある場合には、医療機関等に搬送します。
濃厚接触者 (健康観察期間中)	濃厚接触者専用スペースで受け入れます。 症状が出現し感染が疑われる場合には、医療機関等へ受診させます。
自宅療養者	自宅療養者待機スペースに待機させて、保健所に連絡し、ホテル等の宿泊療養施設に入所を調整します。ただし、移動に危険が伴う場合や受入施設が確保できない場合は、自宅療養者待機スペースで健康観察します。

※避難者が怪我若しくは体調が悪化した場合の対応は（P 31 参照）

□ 感染者が確認された場合

※感染者が確認された場合、保健所の指示により、施設の消毒や避難者を他の場所に移動等させるなどの対応をします。

※必要に応じて同じ滞在スペースにいた避難者の健康観察を実施します。

殺菌消毒液の作成

●感染防止のため、殺菌消毒液を作ります。

注意！手指用ではありません。

消毒前に、洗浄する等して対象物の汚れを除去します。

【市販の塩素系消毒剤（ハイター・ブリーチ・ピューラックス等）の希釈方法

※株式会社オーヤラックスHP参照



使い方	濃度(希釈倍率)	薄め方の目安
床・ドアノブなどの拭き取りに使用	0.02% (200ppm)	2リットルのペットボトル1本の水に 次亜塩素酸ナトリウムを10ミリリットル (ペットボトルのキャップ約2杯)
嘔吐物・ふん便の付着物処理に使用	0.1% (1000ppm)	500ミリリットルのペットボトル1本の水に 次亜塩素酸ナトリウムを10ミリリットル (ペットボトルのキャップ約2杯)

※ 希釈液はスプレーボトルで噴霧しないこと。

消毒効果不足や、霧を吸い込むことによる健康被害の可能性があるためです。

体調不良者等専用スペースで生じたごみの取り扱い

●体調不良者等専用スペースで生じたごみについては、感染防止の観点から、通常のごみと分けて保管します。

また、体調不良者等専用スペースで生じたごみの収集方法が通常のごみと異なるため、事前にごみがどれくらいの量になるか、市の本部に連絡しましょう。



防災倉庫内の蓋つきゴミ箱を活用

発熱、咳等の症状が出た方のための使用済みマスク等の捨て方

発熱、咳等の症状が出た方のための専用スペースでは、鼻水等が付着したマスクやティッシュ、おむつ等のごみを捨てる際は、以下のことに注意が必要です。

**①ごみ箱にごみ袋をかぶせ、
いっぱいにならない
ようにしましょう!**

ごみは、いっぱいになる前に
早めに出しましょう。



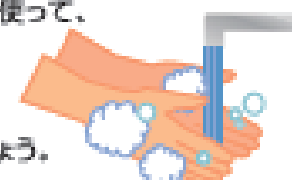
**②ごみに直接触れることの
ないよう、しっかり縛って
出しましょう!**

ごみは、空気を抜いてから
しっかり縛って出しましょう。
万一、ごみが袋の外面に触れた
場合や、袋が破れている場合は、
ごみ袋を二重にしてください。



**③ごみを捨てたあとは
しっかり手を
洗いましょう!**

石けんを使って、
流水で
手をよく
洗いましょう。



※環境省作成のチラシより抜粋

非接触型体温計の使用方法

1. 単4の乾電池を2本入れ、電源を入れます。
2. センサー部分を患者の額に向けます。
3. 測定ボタンを押します。
4. 測定が完了すると電子音が鳴り、測定温度が表示されます。

※付属の説明書もキット内に収納してるので、あわせて参照すること。



開設担当者の感染防止対策装備品

事前受付対応職員、体調不良者等専用スペースの対応・清掃を行う担当者は開設キットに備蓄している物資を活用し感染防止対策を行う。



★用意するもの（開設キット内に保管）

- ・マスク
- ・ガウン（カッパでも代用可）
- ・手袋
- ・フェイスシールドorゴーグル



長袖ガウンの着用方法



③-1 ガウンを着る。



③-2 介助者に後ろを留めてもらう。
(首元のマジックテープ)



③-3 後ろのひもも同様に
結んでもらう。



⑤-1 手袋を装着する。



⑤-2 ガウンの袖が手袋の下になる
ようにする。

完了！

出典：防衛省統合幕僚監部HPより

長袖ガウンの脱衣方法



① 手指消毒をする。



介助者は必ず
後ろからアプローチ！

極力不潔部分に
触れないこと

② 介助者に首元のマジックテープを
はずしてもらおう。



③-1 介助者はガウンの外側を
つかんで脱がせる。



③-2 介助者は内側（清潔部分）
に触れないように注意する。



②' ガウンの後ろ
（マジックテープ、紐）をはずす。

* 首に触れないようにする。



③' ガウンの外側をつかんで
引っ張りながら脱ぐ。

出典：防衛省統合幕僚監部HPより

手袋の脱衣方法



① 手袋を脱ぐ。

* 内側（清潔部分）に触れないように注意する。



② 脱いだ手袋の内側部分でもう片方の手袋を脱ぐ。



③ 感染性廃棄物入れには距離を保って捨てる。



④ マスクを脱ぐ前に手指消毒をする。

出典：防衛省統合幕僚監部HPより

マスク脱衣方法



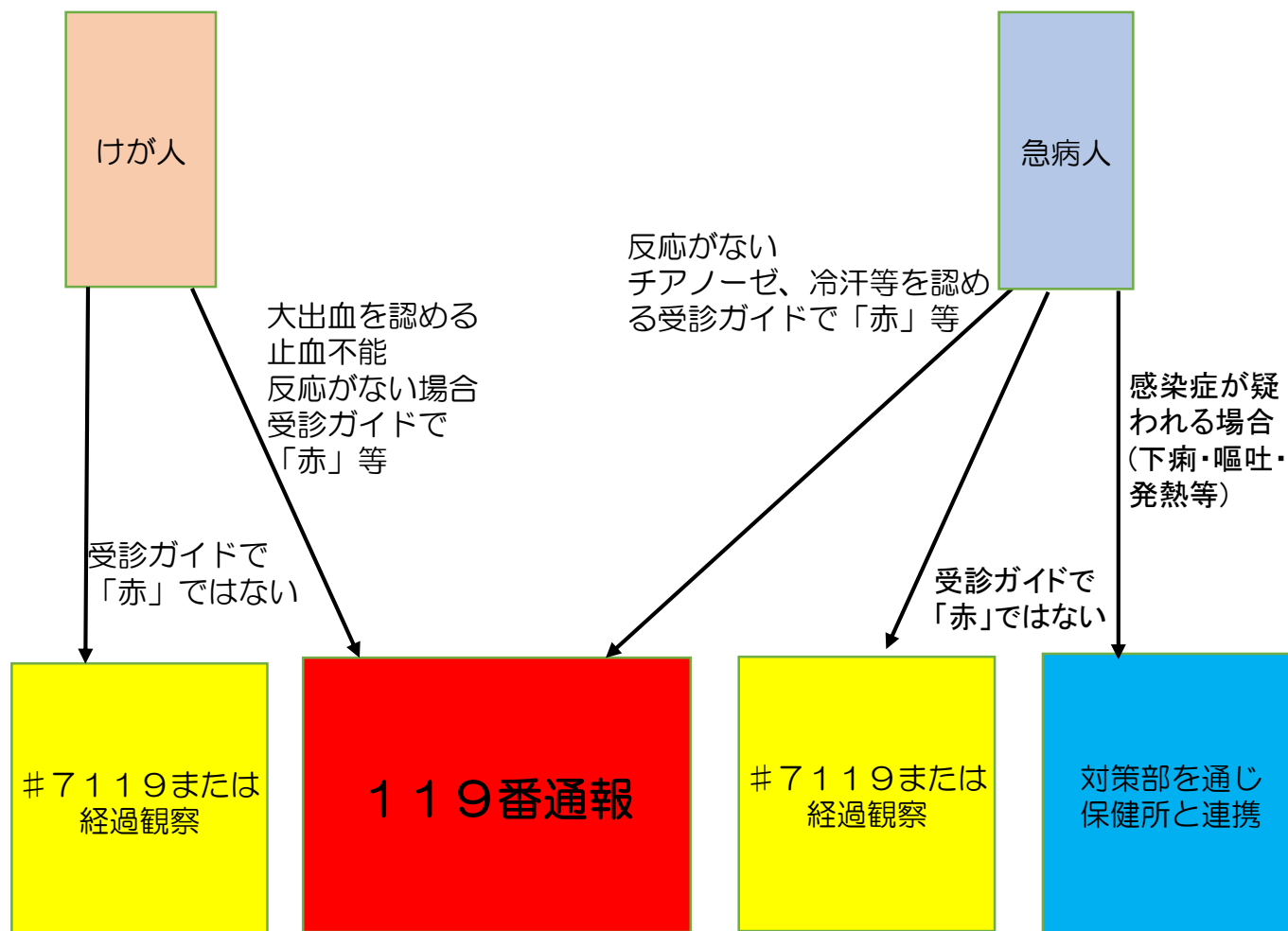
- ⑤ マスクのゴム部分をもってマスクを外す。
* マスク本体（不潔扱い）には触れないよう注意する。



- ⑥ 手袋と同様に距離を保って捨てる。

出典: 防衛省統合幕僚監部HPより

避難者が怪我若しくは体調が悪化した場合の対応



病院へ行く？ 迷ったら…
救急車を呼ぶ？

救急相談センター受付番号 電話で

#7119

24時間受付・年中無休

つながらない場合は…
23区 03-3212-2323
多摩地区 042-521-2323

主なサービス
症状に基づく緊急性の有無のアドバイス
受診の必要性に関するアドバイス
医療機関案内

※通話料がかかります。

救急車を要請した場合や救急相談センター相談後に救急車を向かわせることになった場合は、救急隊の誘導を実施します。
救急相談については、本人が行うのが原則です。

主な開設キット収納物品一覧

No	品目	数量	用途	画像等
1	液体せっけん	3本	手洗い場で使用。	
2	アルコール消毒剤	2本	手拭・拭の消毒として使用する。	
3	アルコール消毒剤 詰めえ	1本	手拭・拭の消毒として使用する。	
4	赤外線体温計（非接触型）	3個	事前受付等で使用。	
5	ペーパータオル（200枚入り）	6パック	消毒、手拭きとして使用する。手洗い場での布タオルの共用は厳禁とする。	
6	長袖ガウン	20着	事前受付等、感染症患者等と接触する際使用する（消毒、拭拭、食事の配布等）。ゴム手袋、マスク、ゴーグルとセットで使用する。	
7	ゴム手袋	100枚	事前受付等、感染症患者等と接触する際使用する（消毒、拭拭、食事の配布等）。	
8	マスク（50枚入り）	6箱	事前受付等、感染症患者等と接触する際使用する（消毒、拭拭、食事の配布等）。感染患者には基本的に持ち込まない。	
9	フェイスシールド	10枚	事前受付等、感染症患者等と接触する際使用する。	
10	ゴーグル	5個	事前受付等、感染症患者等と接触する際使用する（消毒、拭拭、食事の配布等）。	
11	パーテーション	3個	事前受付等、感染症患者等と接触する際使用する。	
12	45ℓゴミ袋（10枚）	2袋	衛生用廃棄物の廃棄に使用する。感染症患者等に接触した物を持つ場合は二重にする。	
13	20ℓゴミ袋（30枚）	3袋	衛生用廃棄物の廃棄に使用する。必要に応じて配布する。	
14	養生テープ	太 6個 細 6個	区画線等に使用する。	

15	スズランテープ	3個	区画線等を使用する。	
16	はさみ	1個	区画線等を使用する。	
17	筆記用具（100本）	1個	感染患者カード、感染患者名簿、ペット台帳等の記入に使用する。	
18	番号札（1～50）	2セット	区画線等を使用する。	
19	メジャー	1個	区画線等を使用する。	
20	乾電池（単4×4本） ※ 赤外線体温計（非接触型）用	1パック	赤外線体温計（非接触型）用使用する。	
21	災害時等障がい者支援バンドナ	8枚	要配慮者対応として必要に応じて配布する。災害時に身につけることで、障がいがあることを知らせる。	
22	各種掲示物	1セット	立入禁止、土曜営業等の値減があるため必要に応じて各所に掲示する。	
23	チェックリスト・手順書ファイル	1冊	感染症患者対応に参照する。	
24	感染患者カード 感染患者名簿	1式	感染患者カードは事前受付、感染患者名簿は受付等で記入してもらう。	
25	ペット管理台帳	1冊	受付等で記入してもらう。	
26	備蓄物資使用数報告書	数枚	感染症患者対応、運営時に感染症患者対応物資の記入し、施設関係者に納品書へ提出する。	

【参考】

- ・「避難所における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン(東京都避難所管理運営の指針別冊)」東京都
- ・「避難所における新型コロナウイルス感染症への対応に関するQ & A)について」総務省消防庁
- ・「避難所における新型コロナウイルス感染症への対応について」内閣府・消防庁・厚生労働省
- ・「避難所における新型コロナウイルス感染症への対応の参考資料について」内閣府・消防庁・厚生労働省
- ・「行き場のない帰宅困難者を受け入れる都立一時滞在施設における新型コロナウイルス感染症対策について」東京都総務局総合防災部
- ・「新型コロナウイルス感染症に備えて～一人ひとりができる対策を知っておこう～」首相官邸HP
- ・「新型コロナウイルスから皆さんの安全を守るために」防衛省統合幕僚監部HP
- ・「避難所開設での感染を防ぐための事前準備チェックリスト」人と防災未来センター 高岡 誠子
- ・「岐阜県避難所運営ガイドライン「新型コロナウイルス感染症対策編」」岐阜県
- ・中央区避難所開設キット、新宿区避難所開設キット
- ・環境省ガイドライン

町田市避難施設感染防止対策マニュアル

<発行>

町田市防災安全部防災課
電話：042-724-2107